

明日に向かって ともに創る

⑧1

大船渡市長 戸田 公明

長期間の高齢化・人口減少時代を

乗り越えるために

人口の流出が止まり、少子化がストップ（合計特殊出生率2・1達成）したとしても、人口減少は70〜80年程度続きます。日本全国共通ですが、今後の最大課題はこのような時代を乗り越える地域力を向上させることです。この取り組みを考えてみます。

■地方創生の観点から

・まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に進め、しごとをもっと創り、流出人口を0に近づけるとともに、結婚と次世代育成の支援を強化し、少子化にストップをかけること。
・そして親子3代の世帯を増やし安心して住み続けることができるまちづくりをすること。

■市民と行政の協働の観点から

・地区・行政の協働の新たな在り方を創造すること。
これは、地区公民館組織の現状の在り方を発展させ、

地区にあるさまざまな組織の緩い統合によるいわゆる地域運営組織を組成し、多くの皆さんが地域づくりに関わることをできるよう行政として支援することです。また、住民どうしのつながりをより強め、地域助け合いの輪を広げてゆくこと。

■生産性向上の観点から

・さらに、高齢化しても豊かな社会を維持発展させるため、経済規模と市民所得を維持向上させること。
そのためには現状の働き方を改善し、生産性向上につながる働き方に変えてゆくことなどです。
・医療介護の情報連携と後発医薬品の普及を進め、医療市民サービスを向上させること。
・公共施設の更新・改修・廃棄などを、将来のまちの姿などを見据えながら合理的に実施すること。

■まちづくりの観点から

・デマンドタクシー、タクシー券配布、目的バスへの混乗などの取り組みを通じて、地域公共交通をより使いやすいものにする。
・30〜50年後の人口に見合ったまちの広がり・在り方について住民の皆さんのご意見を十分伺った上で、計画を創り長期間にわたり実施してゆくこと。
・気仙2市1町の連携を、現在の気仙広域連合の取り組みよりさらに増やし、気仙地域としてこれからの時代を乗り越える地域力を向上させること。
まだまだ数多くありますが、ざっと考えるだけでもこれだけあります。
大震災からの復興は国県の交付金・補助金ほぼ100%により着実に復興してきましたが、これらの施策については国県の補助金は復興交付金ほど割合が高くありません。従ってこれからは正に正念場です。市としては、これを明確に認識し高齢化社会を乗り切る力を市民の皆様とともに知恵を働かせながら向上させてまいりますので、ご理解・ご協力方よろしくお願ひ申し上げます。

いさりび

漁火イルミネーションで点灯する“浮きあかり”のデザインを募集します - 大船渡市市民活動支援事業 -



- 漁火イルミネーションとは＝漁船で使っている集魚灯や漁具を再利用した明かり（漁火）をイルミネーションとして“まちなか”に点灯し、観光振興やまちへの愛着や誇りを高める活動です。
- 浮きあかりとは＝漁業で使っていた浮き玉（漁具）に、穴や線を彫ってデザインし、LED電球を取り付けて再利用します。
- 応募作品はどうなるの？＝実行委員会が選んだデザインを制作し、12月ごろ市内で点灯します。

▷応募方法

- ①応募用紙または画像データにデザインを描き、応募者欄に必要事項を記入してください。
- ②応募先に直接持参するか、郵送、ファクス、Eメールでお送りください。

※応募用紙は事務局で配布しています。画像データで応募される人は、<https://r.qrqr.com/GDDqiiA7/> からダウンロードできます。

- ▷応募対象＝どなたでも
- ▷応募締切＝11月30日（金）
- ▷結果発表＝実行委員会のホームページで発表（<https://fb.com/isaribi.illumination/>）
- ▷その他＝応募作品は返却しません。著作権は、応募時点で実行委員会に譲渡したものとします。
- ▷応募先 / 問い合わせ先＝LOVE大船渡プロジェクト実行委員会「浮きあかりデザインコンクール」係（〒022-0003盛町字町10-11サン・リア2階 / ☎227582 / FAX227581 / Eメール＝isaribi.illumination@gmail.com）

